

地域ネットワークニュース

～平成29年7月の勉強会のお知らせ & 6月の勉強会報告～

第234回 地域ネットワーク勉強会

ニート・ひきこもり等への社会参加支援の取り組み

～相談支援と居場所・就労支援の活動から～

講師

いばらき若者サポートステーション 根本久子氏（総括コーディネーター）
障がい者就労支援センター コンパス 佐藤節子氏 小原夕美子氏

7月27日(木)

午前7時～午後9時

神栖市保健・福祉会館
研修室

今回の勉強会では、ニート・ひきこもり等の方へ、就労や社会参加の支援を行っている2つの事業所のスタッフを講師としてお招きします。

「いばらき若者サポートステーション」は水戸市に拠点を置き、就職活動に一步踏み出せない、人間関係が苦手といった様々な困難を抱えた15歳から39歳の若者に対し、キャリアコンサルタントなどによる専門的な相談や様々な就労支援を行っています。相談支援では個別性を重視し、それぞれの思いに寄り添いながら社会参加の第一歩を一緒に考えています。就労支援においても、コミュニケーション講座やパソコン講座などの基礎力向上と自信の回復を目的とした内容や職場体験、模擬面接など具体的な就職に向けた活動など様々な支援プログラムが用意されています。初回の相談は電話やメールで受け付けています。

「障がい者就労支援センター コンパス」は神栖市内で障害者の就労支援事業を展開する傍ら、ニート・ひきこもりについての相談に応じ、社会参加のきっかけとなる居場所支援の活動を実践しています。

勉強会では、それぞれの実施プログラムやその特徴、相談する本人やご家族の切実な悩みや思い、社会参加までの過程などを実際の支援事例を交えてお話しいたします。社会生活に不安がある方、就労に悩んでいる方やそのご家族、障害者やひきこもり等の支援に関心がある方など、多くの方のご参加をお待ちしています。

※当日は勉強会会場内に情報提供・紹介コーナーを設けています。福祉や医療に関する事業所のパンフレットやチラシ、研修会案内などありましたら是非ご持参下さい。ご参加頂く皆様からの情報をお待ちしています。

申込・問合せ先：神栖市社協 地域福祉推進センター 担当：三浦 電話 0299-93-0294



第233回 地域ネットワーク勉強会報告

平成29年6月29日開催

<参加者54名>

「乳幼児期から児童期の発達段階と発達が気になる子の理解」

講師：穂積妙子氏（臨床発達心理士）

【つくば子どもと教育相談センター 代表/神栖市子育てカウンセラー相談 相談員】

今月の勉強会は子育てサポーター養成基礎研修の2日目と合同で開催しました。午前中の講義では子どもの発達を乳児期（0～1歳前後）、幼児期（1歳半頃～5.6歳）、児童期（7歳頃～10.11歳頃）の段階に分けて、それぞれの時期に生じる発達課題について詳しく説明がありました。また、午後からは生まれつき脳に何らかの機能障害があることで、発達に偏りが見られる発達障害の特性や年齢に応じた関わりのポイントについて伝えられ、午前・午後を通じて子どもの発達に関して集中して学ぶ機会となりました。

たとえ小さな子どもであっても、子どもは親の分身ではないので、「思い通りには育たない」という事実を受け止め、子どもの「ありのまま」を受け止めること。その心構えとして穂積先生から“good enough(グッド イナフ)＝完璧でなくほどほどでよい、それで十分”という意味のフレーズが伝えられ、「気負いせずに子育てを楽しむこと」の大切さを改めて感じる事ができました。